



クリスマス会



12月21日(日)

入居者の方から自主的に「歌います！」の声があり、何人かの自慢の美声を聞かせていただいた後は、毎年恒例？の、スタッフ側からの出し物。スタッフがあれやこれやと出し物披露をいたします。



今年の演目は「水戸黄門」。。。。？去年も確か水戸黄門のお芝居だったはず。。。。よく見ると、“**港町玖波、桔梗屋との死闘**”と、サブタイトルが前回のものと変わっていた！（芸が細かい）みんな役者です。いつ練習したのかわかりませんが、場内は大笑い。「この印籠が目に入らぬか！！」の、名セリフはうまく言えていたでしょうか？セリフに間が空くと観客の入居者から

らつつこみも入り、スタッフもたじたじ。

終了直後にはこれも恒例(になっています)の突撃インタビューも始まり、芝居終わっても気が抜けないようです。

一年の終わりの月に、笑って過ごせる時間を持って、良い締めになったのならば嬉しい限り。生活していれば、嫌な事や腹の立つ出来事もありますし、テレビのニュースでは悲しい知らせも報道されます。

笑顔を忘れぬように、どこかに笑えるひと時が必要ですね。

2009年もいい年になりますように。

(高野 千春)



12月19日(金)クリスマス会用のテーブルフラワーを準備していただきました。

兼重先生、いつも美しいお花を飾ってください、ありがとうございます。

